

〒143-0061 東京都大田区石川町1-14-11
グリーンヒルズ大岡山102号

Tel. 03-6421-8320 FAX 3728-5071
Eメール jrroukairou@yahoo.co.jp

J R 東 海 労 働 組 合

発行人 小林 光昭
編集人 高山 浩

2015年
7月1日
第362号

JR東海労

http://www.geocities.jp/jrtoukairou/

全ての闘いをたしるかおる応援プロジェクトに結実を!

第30回定期大会開催



J R 東 海 労 は 6 月 14 日、名古屋「ワークライフプラザ」で第30回定期大会を開催しました。大会には、総勢120名以上が参加しました。開会には高原副委員長の挨拶で始まり、議長団に剣持(新幹線)、西村(新幹線関西)両代議員を選出しました。淵上委員長は挨拶で、「全ての闘いをたしるかおる応援プロジェクトに結実させよう」と訴えました。ご来賓挨拶では、JR総連榎本書記長、たしるかおる参議院議員、楠関ケ原町議会議員、鉄道フアミリー石川取締役営業部長、OB会宇留生会長より、それぞれ問題提起を受けました。発言では、職場からの

実践や闘いの教訓などを中心とした意見が多く出されました。そして、この1年間全ての闘いを、たしるかおる応援プロジェクトに結実させるために、職場・地域から奮闘していくことを全体で確認しました。JR総連黒田政治部長の感想を受け



淵上中央執行委員長挨拶

実践や闘いの教訓などを中心とした意見が多く出されました。そして、この1年間全ての闘いを、たしるかおる応援プロジェクトに結実させるために、職場・地域から奮闘していくことを全体で確認しました。JR総連黒田政治部長の感想を受け

今年(戦後70年)の節目です。安倍政権は、

は、たしるかおる応援プロジェクトのさらなる前進に向け、闘い抜くことを確認することです。JR総連は、たしるかおる応援プロジェクトを立ち上げ、各単組と連携を取りながら、さまざまな取り組みを進めています。3月8日、たしるかおる参議院議員と岡山秘書に

閣議決定で集団的自衛権の行使可能とする解釈改憲を強行しました。そして、今国会において、自衛隊法や周辺事態法など現行10個の法律を一括した「平和安全法整備法案」として、そして、集団的自衛権の行使容認を柱とする、「安全保障関連法案」が国会に提出され審議されています。

た後、小林書記長の総括

R総連の仲間と力を合わせ、戦争政策に反対するあらゆる仲間と連携して全力で闘っていきます。まさに次期参議院議員選挙は、平和を守る闘いと位置付け、闘っていかなければなりません。たしるかおる応援プロジェクトの闘いは、反戦

私たちが、不当なボーナスカットを許さない闘いとして、裁判や労働委員会、本人訴訟などの闘いを進めてきました。私たちは、第三者機関を意図した組合員と共に、置かれた場、それぞれの職場での闘いとして、どのように展開し、他労組合員に広げていくのかと化し闘いを進めていく必

昨年(2014)の大会で、東京地区分会の山本さんが、強制出向延長取り消し裁判の闘いで「仲間との議論と裁判の闘いを通じて、会社に立ち向かう自分へと変わった」と発言されました。辛いから諦めるのではなく、そこから逃げ出すのではなく、そこで闘うということを私たちは学びました。私はここに闘いの核心があると思います。

R総連の仲間と力を合わせ、戦争政策に反対するあらゆる仲間と連携して全力で闘っていきます。まさに次期参議院議員選挙は、平和を守る闘いと位置付け、闘っていかなければなりません。たしるかおる応援プロジェクトの闘いは、反戦

要があります。私たちは、組織拡大は職場における具体的な闘いによって決定するということを学び、その教訓を自らの職場において実践していき

2015春闘においてJR東日本は、ベアの配分をめぐって、JR東海と同じように、賃金において成果主義、格差賃金を導入して、社員間の競争を煽り、社員間の分断を画策して行きました。一方で、強権的な労務管理でJR東労組の破壊・弱体化を意図した組織破壊攻撃であることは間違いありません。

J R 総 連 大 会 が 6 月 7 日(8日開催)され、武井委員長は開催の挨拶の中で報告されましたが、JR北海道の安全管理体制強化のために、JR東日本から数名の社員が派遣されています。その一部幹部社員による「現場力向上に向けた講演会」が予定されています。しかし、実際の講演内容は「JR東日本の(京浜東北線)基地統廃合の施策において、いかにして労働組合を押しつけたか」というものであったことが明らかにになりました。その幹部社員がJR北海道を去る時に「どうしようもない三流会社のクズども」と捨

2015春闘においてJR東日本は、ベアの配分をめぐって、JR東海と同じように、賃金において成果主義、格差賃金を導入して、社員間の競争を煽り、社員間の分断を画策して行きました。一方で、強権的な労務管理でJR東労組の破壊・弱体化を意図した組織破壊攻撃であることは間違いありません。

要があります。私たちは、組織拡大は職場における具体的な闘いによって決定するということを学び、その教訓を自らの職場において実践していき

【2面につづく】

要があります。私たちは、組織拡大は職場における具体的な闘いによって決定するということを学び、その教訓を自らの職場において実践していき

【1面よりつづく】
て台詞を言ったことも明らかになりました。JR北海道労組の組織破壊を意図して行動していたという事です。

JR東日本やJR北海道で表れている事態は、新たな労使関係の構築、すなわちJR労働運動の再編を意図し、JR総連の組織破壊であることを示しています。これは、安倍政権の下で進められている憲法改悪、「戦争のできる国」づくりと無関係ではありません。

また、JR東労組一部OBによる組織内部からの組織破壊攻撃が行われていることも明らかにされました。私たちは、JR総連・JR東労組と連帯し組織内部からの組織破壊攻撃を許さず、闘っていききたいと思います。

JR東海では、ペイシないリニア中央新幹線建設に向けた効率化、社員管理がより強化されることは必至です。熱中症は職場の問題の一つであり、職場にはまだまだ問題は多くあります。私たち一人ひとりが、職場で他労組組合員が言えないことを、理不尽な社員管理に対する不満を代弁し、先頭で闘うことを通じて組織強化を勝ち取っていくことが今こそ必要です。そして、職場からの闘いはJR総連への組織破壊攻撃に対する反撃の闘いとして、さらに奮

闘っていきます。
JR総連副委員長としてがんばってこられた萩原さんが、5月21日をもって辞任されました。それは、萩原さん自身と奥さんの体調の問題から、仲間の皆さんに迷惑をかけないという判断において決断されました。私たちは、萩原さんの決断をしっかりと受け止め、私たちにできることで支え、奮闘していかねばなりません。

JR総連大会で、辞任に伴う選挙は行わず、JR東海労から専従として特別執行委員で受けていくことが承認されました。大会後の第1回執行委員会、私がJR総連特別執行委員に指定していただきました。従って、私は今大会で辞任します。組合員の皆さんと時間をかけて議論することができず大変申し訳ありません。是非ご理解をお願いしたいと思います。専従であるうがなかるうが、労働組合の役員として、職場感覚を持つという事は極めて大切なことだと思います。私自身が本部委員長として、職場において、対応、姿勢が問われました。職場で闘おうといくら偉そうなこと言っても、自らが職場で闘い、実践しなければ、その発言は全くの空論で、組合員からの信頼も勝ち取れません。この5年間、労働運動の原

点である職場から闘うという事を考え、進んできた5年間でした。私たちJR東海労は、数的には圧倒的に少数ですが、職場においては決して少数派ではありません。私たちの職場からの

闘いは、共感の輪を確実に広げています。闘いの主戦場は職場です。私たち自らが少数派に陥らず、闘いの広がり組織強化・拡大のために、全員の闘いをたしろかおる応援プロジェクトの強化

共に闘う決意新たに！ ご来賓挨拶



J R 総連 榎本 書記長

JR総連は、6月7日(8日第31回定期大会を開催した。①憲法改悪反対、平和・人権・民主主義を守り抜く、②新自由主義政策反対、労働者保護ルールの改悪反対、③命を大切にすJR会社づくりに、④組織破壊攻撃を許さず、団結を強化する、⑤全ての闘いをたしろかおる応援プロジェクトに、の5本の方針を決定した。JR総連が闘えるのは、組織性のある団結力があるからだ。5つの課題の実現に向けて奮闘する。

JR連合の討議資料は、これが労働組合の方針かと思うと怒りがわく。「闘う」の文字すら



参議院議員 たしろかおる

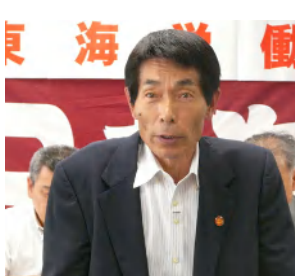
JR東海で乗務員が熱中症になった。健康だからこそ、安全が確保できらこそ、安全が確保できる。名古屋駅の出区点検の問題では、国土交通省が動いて解決できた。より安全な鉄道を目指して取り組んでいく。

JR東海で乗務員が熱中症になった。健康だからこそ、安全が確保できらこそ、安全が確保できる。名古屋駅の出区点検の問題では、国土交通省が動いて解決できた。より安全な鉄道を目指して取り組んでいく。

のために結集し、奮闘していきましょう。5年間支えていただきありがとうございます。新たな体制となりませんが、これからも皆さんのご支援をお願いし挨拶とします。

3人の憲法学者が集団的自衛権の行使容認について違憲と判断した。5月の国土交通委員会の中で、アフガニスタンの経歴を含めて話をし、集団的自衛権の行使が容認されれば、日本人は海外で標的にされるから、閣議決定してはいけないと、あえて、太田国交大臣に質問した。これは、JR総連の意思として国政の場で明らかにした。7月1日の不当な閣議決定の日、官邸の前で、撤回させるまで闘うことを表明した。その後、決議文を党に提出し、党としても撤回の闘いを行っていく。

の先は戦争への道に繋がっている、本質を捉えながら、安倍政権の進める安保法制とリンクさせて、反対の闘いをつくらなければならない。安倍政権は、2年以内には改憲を方針化しているが、まずは、国民投票にもついでいかせない闘いをしなければならぬ。しかし、国民投票にされた場合、改憲に「NO!」の1票を投じられる民衆をどれだけつくり得るか、具体的に考え運動しなければならぬ。組織内議員として、平和・人権・民主主義のために最先頭で闘う。



議員 榎ヶ原 議員

関ヶ原町議会議員選挙では、定員9名のところ10名が立候補し、4位当選であった。選挙妨害を跳ね返して闘った。議員活動の一つとして、請願書や意見書を議会に提案し採択または否決されることがある。不破9条の会と連携して、安保法制反対、慎重審議の立場から、私が紹介議員になり今議会で審議される予定になっている。保守が強い中で、まず行動を起こすこと、提案を提出することが大事であ

の先は戦争への道に繋がっている、本質を捉えながら、安倍政権の進める安保法制とリンクさせて、反対の闘いをつくらなければならない。安倍政権は、2年以内には改憲を方針化しているが、まずは、国民投票にもついでいかせない闘いをしなければならぬ。しかし、国民投票にされた場合、改憲に「NO!」の1票を投じられる民衆をどれだけつくり得るか、具体的に考え運動しなければならぬ。組織内議員として、平和・人権・民主主義のために最先頭で闘う。



部長 石川 部長

6月26日に株主総会を開催する。年々経営は厳しい状況になる中、JR東海労は約70%の加入率で、JR積み立て年金の春募集では新たに4名が加入していただいた。ガン保険の見直しについて検討していただきたい。



会長 宇留生 会長

安倍政権の暴走が止まらない。菅官房長官は「憲法学者の1つの意見だ」と言う。自分らがやろうとすることを一切曲げず、一直線に進んでいる。次期参議院議員選挙では、改憲の動きを止めることが最大の課題。6月1日付の新聞に、ツバメの巣からセシウムが検出されたと報道された。原発再稼働は許せない。現職の皆さんと共に闘う。

職場からの闘いを積極的に発言

◆たしろかおる応援プロジェクトの闘いをさらに推し進める。

◆営業分科会は総会を開催し当面の課題について意思統一した。旅客からのネットでの苦情や些細な事象で、若手社員は精神的にまいってしまふ。活き活きとした職場をつくらせていく。

◆ボーナスカット本人訴訟で、会社が5W1Hを出した。出させたのは1つの成果である。『さいばん通信』でカットとされた理由を明らかにし、掲示した。会社は掲示を撤去できない。他地本と連携して今後も闘う。

◆ボーナスカット本人訴訟で、職場全組合員で闘うことを確認した。

◆60歳以降になると、本線乗務は体力的にもきつ



議長團の西村(左)、剣持(右)両代議員

い。高齢者交替、ハーフタイムなどを要求していかねければならない。

◆年休取得の闘いで、①地本から要求の申し入れ、②15号の情報発行、③全組合員で年休申込用紙に「今まで申し込んできて発給されなかった日の年休未発給の時季指定」と記入、④年休失効する前の苦情申告、⑤職場集会の開催を実践した。年休の抽選方法は改善されたが、根本的な問題は要員不足である。年休失効は、東一運で2名、東二運で3名。今後も闘いを継続する。

◆ヒューマンエラーで精神的に落ち込み、強制転勤となった社員がいる。情報で明らかにした。

◆定中以降、少人数職場での掲示板設置申請を13職場で行った。設置しない理由を管理者に聞く取り組みを行った。

◆出区点検と水分補給について規程が訂正された。安全問題と強権的職場支配に関わる問題が2つ改善された。組合員から「このままでは死者が出るぞ」との言葉に、今までの業務委員会の在り方ではいけないと感じた。最終的には、たしろ議員の取り組みで改善できた。熱中症の問題の核

心は、異常な労務体質にある。

◆台風6号が接近した日、日勤終了後18時03分〜24時まで災害対策のため待機、翌日は0時〜9時まで勤務となったが、待機時間は労働時間ではない。理由は、日勤という勤務が確定されているとのことである。おかしいと抗議した。後日管理者が人事課に問い合わせをした結果、超勤となった。当日でも勤務変更ができるように改善すべき。

◆出向先会社で、3月のダイ改後、出勤時刻が30分繰り上げられたが、労働時間に反映せず休憩時間と拘束時間が延びた。他にも、年休発給、休憩中の移動、出勤時刻前の作業準備などの問題がある。出向先の社員の意見を聞いて団体交渉に臨んだ。

◆社員の不祥事は、強権的職場管理の結果だ。

◆『JR東海ユニオン関西地本情報』No.12で、JR東海労働組合員が一緒に食事をしたことがストーカーだとして、逆にJR東海ユニオン組合員から反感を買っている。

◆最終乗務を終えて写真を撮ったが、会社は隠れて盗撮した。非を認め

が、一切謝罪はない。

◆ボーナスカット本人訴訟で、原告の組合員は意見陳述で、会社の不当性を堂々と証言した。職場から支えていく。

◆仕業検査体制見直しの問題で、3日間、小集会を開催し、しっかりと管理者に意見を言うことを確認した。直営社員2名と協力会社社員3名で検査を行う。後検査は直営社員が行う。責任施工される部分は少ないと考えられる。となると、作業指示・命令などの偽装請負が懸念される。だぶついた要員の転勤はないとの回答はあったが、疑問を一つひとつ潰していくことが大事だ。分会は地本を通して会社に撤回の申し入れを行った。

◆三労委の証人審問の日、3時間前に集合し、意見交換を行い臨んだ。弁護士役を担い、勉強になった。

◆出向先会社と団体交渉



◆この間の闘いを一言で言うと、継続は力なりである。出向先会社との団体交渉は4年目となった。出向組合員との連携を強化してきた。組合掲示板の要求も行った。ピラは、朝昼晩と行い、枚数が増えた。



来賓

ご列席いただいたご来賓の皆さま
JR総連榎本書記長、同黒田政治部長、同永島広報部長、たしろかおる参議院議員、畠山秘書、鉄道ファミリー石川取締役営業部長、同加藤営業担当部長、楠関ヶ原町議会議員、OB会宇留生会長

◆春闘期間中、分かりやすい情報を集中して発行した。

◆掲示物不当撤去行政訴訟で、県側は私たちの主張を取り入れた準備書面を提出した。この間の闘いの成果である。他地本の闘いがあってこそその準備書面となった。

◆この間の闘いを一言で言うと、継続は力なりである。出向先会社との団体交渉は4年目となった。出向組合員との連携を強化してきた。組合掲示板の要求も行った。ピラは、朝昼晩と行い、枚数が増えた。

◆フレップの仲間と交流を行った。厳しい社会の



現実を学んだ。

◆地本1泊学習会を9回開催した。些細なミスで退職に追い込む「緩やかな首切り」という課題が発掘された。今後議論していく。

◆平和研修で、三鷹事件について学んだ。労働組合が弾圧され朝鮮戦争に繋がった教訓を、今どう活かすか問われている。

◆改憲阻止プロジェクトを中心に、さまざまな取り組みを展開した。全港の仲間との交流、沖縄で基地反対で闘っている仲間との交流、JAL御巣鷹山事故の慰霊登山を航空安全会議の仲間との交流をしてきた。陸海空の仲間と連帯を強めた。今年第18回中国平和研修を開催する。7月4日には福山ホロコースト記念館を訪れる。陸海空の仲間が結集して、7月26

◆春闘期間中、分かりやすい情報を集中して発行した。

◆掲示物不当撤去行政訴訟で、県側は私たちの主張を取り入れた準備書面を提出した。この間の闘いの成果である。他地本の闘いがあってこそその準備書面となった。

◆この間の闘いを一言で言うと、継続は力なりである。出向先会社との団体交渉は4年目となった。出向組合員との連携を強化してきた。組合掲示板の要求も行った。ピラは、朝昼晩と行い、枚数が増えた。

◆フレップの仲間と交流を行った。厳しい社会の

メインスローガン
憲法9条改悪反対！安全保障関連法案反対！
労働諸法制改悪反対！原発再稼働反対！
安倍政権の暴走を許さず、
平和・人権・民主主義を守り抜くために、
「たしろかおる応援プロジェクト」を、
職場・地域からより一層推進しよう！

日には、光州事件35年目を迎えて集会が開催される。あらゆる戦争政策反対する。

◆JR西労で若手が加入した。なぜ加入ができたか、しっかり学ぶ。職場改善と組織拡大は一体である。

当たり前の労働運動で組織強化・拡大を!

小林書記長総括答弁



小林新委員長

今大会の最大の目的は、たしろかおる応援プロジェクトを成功に導いて、私たちの闘いを発展させ、平和・人権・民主主義を守り抜くことである。そして、これが確認できた大会である。

多くの代議員の発言にあつたように、職場には様々な問題が山積している。年休の問題然り、休日出勤の問題然りだ。60歳以降安心して働ける職場がなかなか無い中で、労使間における交渉は一杯やってきてはいるが、労使間では解決でき



ない。その部分は国政の場で反映すると、たしろかおる議員から言っている。本場に有り難く思っている。名古屋駅における不安な出区点検が解消された。また、熱中症の問題もそうである。JR東海ユニオンは、いち早く「俺たちの成果だ」と職場に掲示を貼った。そうだろうか。私たちは、ネクタイや制服のことをずっと前から言い続けてきた。しかし、そのことについて会社は全く聞かずに持たなかった。今回、私たちの闘いで突き動かしたのは事実だが、社会を動かすことによって私たちの職場改善を勝ち取ることができた。そのことは、たしろかおる参議院議員の国政での闘いで、始めて実現できることを痛感させられた。

戦後70年、安倍政権の暴走を許さず、平和を守る闘いを推し進めることを確認した。職場では、リニア中央新幹線建設を口実として、合理化推進組織破壊の構造の基に施策が打ち出されている。その施策に立ち向かうと同時に、組織破壊攻撃に立ち向かっていく。組織破壊の象徴であるボイコットに対する闘いは、各地本の連携によってつくり上げてきた。この教訓を引き継いで、組織拡大を目指すことが確認できた。

この1年、職場の中かしらっかり闘っていく。その闘いの集約が、たしろかおる応援プロジェクトになる。具体的には、大会後執行委員会を開催し、7月28日に代表者会議を開催し、意思統一を図っていく。

気持を一つにして、団結をして、JR総連の旗の下に、一切の弾圧・組織破壊を跳ね返していく。結成の理念である「東海の地に労働運動の炎を消すな」を胸に刻んで、当たり前の労働運動を職場の中からつくり上げ、私たちの未来を切り拓いていこうではないか。

たしろ議員 便り



6月22日、民主党をはじめ野党が反対する中、安倍政権は衆議院本会議において、国会の95日間延長を決めました。通常国会として過去最長の大幅延長をとった背景には、与党が指名した参考人含めた憲法学者3人の全員が審議中の安全保障法案を「憲法違反」と断じ、他国を武力で守る集団的自衛権の行使容認を



本部は6月14日、第1回執行委員会を開催し、2015年度本部役員体制について以下の通り、執行委員の単務および、特別執行委員の指定を行いました。

役職	氏名	所属
執行委員長	小林 光昭	新幹線
執行副委員長	高原 順哉	名古屋
〃	木下 孝尚	静岡
〃	船出 信政	新幹線関西
〃	成田 隆浩	新幹線
〃	山本 繁明	静岡
〃	山田 哲也	名古屋
〃	小林 國博	新幹線関西
書記長	木下 和樹	新幹線
総務部長	本橋 浩司	新幹線
組織部長	斉藤 孝紀	新幹線
業務部長	加藤 光典	新幹線
法対部長	柳 楽 関	新幹線関西
教宣部長	高山 浩	静岡
会計監査員	丸山 眞一	新幹線
〃	水野 成明	名古屋
〃	小枝 俊久	新幹線関西
特別執行委員	淵上 利和	新幹線
〃	小林 由美	新幹線関西

柱とする安全保障関連法案が憲法の枠内だと主張する政府見解を覆したところが大きく影響していると思えます。「安全保障法制」の本質を隠して名付けた「戦争法案」の問題が市民の知ることとなり、内閣支持率が急落したにも関わらず、国会会で成立させるとばかりに「時間をかけて国民の皆さんに丁寧に説明する」「十分な議論をするため」といった口実を使い、さらに「再議決60日ルール」を計算に入れた既成事実づくりの延長に過ぎません。

現在、約4千人の憲法学者、歴代内閣法制局長官、文化人、知識人の方々が「違憲」を表明し、反対の姿勢を鮮明にしています。また、連日国会周辺を取り囲む市民の数は日ごとに増え、女性や若者たちが大勢集まり「反対」の声を上げています。今、まさに「立憲主義」に基づき、憲法尊重擁護義務を定めた憲法第99条に則り、この「戦争法案」を廃案にし、集団的自衛権容認の閣議決定そのものを撤回すべきだと考えます。

安倍首相は外国で演説する際に「法の支配」という言葉を度々使っていますが、憲法第98条で「法の支配」と規定しているように、多くの人が「日本の最高法規である憲法に違反する」と指摘する「戦争法案」を数の力に任せて強引に強行採決の合意が得られない、実質的にも無効であるという考えを悟るべきであると考えます。

延長が決まった翌日の6月23日は太平洋戦争末期の沖繩戦全戦没者を追悼する「慰霊の日」であったことに心を馳せ、憲法9条をはじめとした日本国憲法を守り、市民の力で廃案に追い込んでいかなくてはならないと決意いたします。

組合員の皆さん、共にごんばりましょう!

注釈

・ 60日ルール…衆議院通過後、参院で60日経っても採決されない場合、衆院の3分の2以上の賛成で再議決できる

・ 第99条 天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負う。